

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	オークランド研修
-----	----------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	45000 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	5000 円	
現地通学費	9000 円	(研修先まで 約40 分)
教養娯楽費	25000 円	放課後や週末のお出かけ
被服費	0 円	
雑費	15000 円	お土産
その他	円	例:
合計	100000 円	

渡航準備について
1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
ほとんどクレジットカードで支払いができました。 渡航前に3万円分 NZドルに換金しましたが特に必要な場面はありませんでした。
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
トリファの eSIM(10GB)を利用しました。電話番号が付いていないので、少し不便な点もありました。
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
室内で履くサンダル、ドライヤー、多めの日焼け止め、水筒

現地情報
1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
最初にホストファミリーに危険な地域について聞き、そこには近づかないようにしました。貴重品は小さなバッグに入れて手放さないようにしました。 特に危険な場面はありませんでした。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
ホストファミリーの家と学校では問題なくインターネットに接続できました。

滞在形態関連	
1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
☐ 寮・アパート ☒ ホームステイ ☐ ホテル	☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	
☐ バス ☐ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)	

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等) ホストマザー1人だけの家に自分ともう一人の留学生がいました。ホストマザーはとても親切で、特に洗濯やシャワーについての制限はありませんでした。夕食の時間では積極的に会話をするので、とてもいい関係を築けたうえ、英語を話すことへの苦手意識もなくなりました。自分から話しかけないとホストマザーはそっとしておいてくれる方だったので、積極的に会話できたこともよかったです。わからないときはわからないと伝えることで円滑なコミュニケーションをとることができました。

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。 授業内でクラスメイトと英語で話す機会がたくさんあったのはよかったです。しかし、クラス内には1人以外全員日本人でした。
2)課外プログラムについて 様々なアクティビティがありました。日本人の新たな友達に出会えたり、中国、韓国から来た留学生とも話せました。
3)現地での生活に関すること 坂がとても多いので歩きやすい靴を持っていった方が良かったです。夏は暑くても日焼けをしますが朝晩はとても涼しいです。物価がとても高いのでたまに自宅でサンドウィッチを作って持って行く日もありました。学校で水筒に水を汲んで飲んでいました。

交流等について
1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。 3月の授業内で部活の新歓に行きました。オークランド大学の学生の方と話すことができました。
2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。 学校の近くにある教会でフリーランチをやっていて、そこでは日本人以外の留学生やフリーランチを主催している現地の方と交流する機会がありとても良かったです。Google map に頼りすぎずに現地の人に道を尋ねると、親切に教えてくれて会話が弾むことが何度ありました。

異文化体験について
1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。 ホストファミリーはエコに対する意識が強いと感じました。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

英語で話すことに自信を持ちかけたので、文法がわからなくてもとりあえずたくさん話そうにしました。具体的にはホストファミリーと夜ご飯の時間に今日あった出来事を話したり、おすすめの食べ物や観光地を聞いたりしました。また、学校で開催されるアクティビティに積極的に参加したり、現地の人に道を尋ねたりしました。日本人以外の留学生が少なかったので日本人と行動することが多かったですが、なるべく英語で会話をしていました。意識の高い仲間たちばかりなのでここで出会った人たちに多くの刺激を与えられました。オークランドはとても過ごしやすい気候なため、特に不便なところはなく終えることができました。たった1か月で英語が流ちょうに話せるようになるということはありませんが、英語を話すことへの苦手意識は間違いなく無くなったし、積極的に挑戦するという姿勢がさらに身についた1か月だったと思います。いかに実りのある1か月にするかは自分の過ごし方次第だと思うので明確に目標を立てて挑戦するとさらなる成果が得られると思います。
--

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	オークランド大学語学研修
-----	--------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	55000 円	レストラン、カフェなど
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	0 円	
現地通学費	25000 円	(研修先まで 60 分)
教養娯楽費	15000 円	映画、ラグビーの試合、水族館、博物館の入場料など
被服費	円	
雑費	円	
その他	15000 円	例:お土産
合計	110000 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
 現金の用意方法:空港の両替所、日本の両替所
 その他用意したものの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート

2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
 ほとんどの支払いにクレジットカードを使いましたが、レストランなどで友人と料理をシェアしたときに現金があると便利でした。

3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
 Ahamo を使っているのので特に準備はしませんでした。

4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
 持って行ってよかったものは、ハンガー、洗濯物を干すもの(洗濯ばさみがいっぱい付いている道具)、ジップロック、水筒、サンダル、折り畳み傘、水着です。洗面所におちた髪の毛をとるためにコロコロがあつたら便利だと思いました。
 逆にいらなかったものとして、たくさんの方の長袖です。事前に多くの体験記に朝晩は冷え込むとあったので、パーカー2枚、トレーナー2枚、ウインドブレーカー1枚の長袖を持って行きましたが、日中は暑くて半そでで過ごすので、T シャツの上からきるもので十分で、トレーナーは要らなかったかなと思います。現地の多くの方は少しの雨で傘を差さないで、ウインドブレーカーは役立ちました。また、パーティなどと呼ばれる可能性を考えて、フォーマルなワンピースもあるといいと言われて持って行きましたが、そのような機会はなく、友人からも聞かなかったもので、もし必要であれば、現地で買えばよいと思います。私は現地で手に入らないかもしれない、高く買えないかもしれないということを考えて、いろんなものを持ってきたのですが、スーツケースの重量制限が心配でお土産を思う存分買うことが出来ませんでした。H&M やニュージーランドの低価格の服屋さんもいっぱいあるので、洋服は日常生活を送るためのものだけで十分だと思います。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
 (例:研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☒ あり (問題の内容や相談した人等:ホストマザー)
 特記事項:たくさん虫に刺されてしまったので、ホストマザーに相談し、市販の塗り薬を貸してもらいました。

2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
 家周辺の情報はホストマザーに聞きました。また、危険な場所は学校で友人と話題にのぼるので注意するようにしていました。防犯対策としては、荷物や自分の食べ物から目を離さない、財布をなるべく出さない、一人でいるときにスマホを見ながら歩かないなどの基本的なことはやっていました。私は特に盗難被害にあっていませんが、学校では襲われて財布やスマホをとられたという話も聞きました。オークランドは基本的に安全な場所がほとんどで、夜に歩くことなどもできましたが、注意は必要だと感じました。

3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
 私の調べ不足ですが、Ahamo が海外で15日間しか使えないことを知らなかったの、15日経過後からは学校と家以外でネットを使うことが出来ませんでした。Ahamo を使っている方は注意が必要です。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
☐ 寮・アパート ☒ ホームステイ ☐ ホテル	☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	
☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)	
4) 感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)	
私のホストファミリーはブラジル出身の両親と中学生と高校生の4人家族で、第1言語がポルトガル語の家族でした。もちろん私と話ときは英語で話してくれて、私が聞き取れないときは繰り返したり、違う言葉に言い換えたり、ゆっくり話してくれたりしました。また、私は自分の言いたいことを英語で伝えるのがとても下手でしたが、ゆっくりと耳を傾け、最後まで聞いてくれたり、言いたいことをくみ取って、言い方を教えてくれたりしたのがとてもありがたかったです。仕事や学校で忙しい家族で、1日の中で会話ができる時間は少なかったですが、少ない時間でも積極的に話すよう意識していました。ホームステイ最初の方は話すことがありますが、だんだん何を話せばいいかわからなくなると言っている友人もいましたが、私は今日あった出来事と感想、明日の予定などを伝えていました。会話のネタになるだけでなく、ホストファミリーのおすすめの場所なども教えてもらえたので良かったと思います。 私のホームステイ先では、1週間に1回私の分をまとめて洗濯してくれる家だったので、T シャツや下着類は1週間分持っていくことをお勧めします。	

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1) 研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。
授業内で話す機会がたくさんあること、日本の授業で習ったことのない日常生活に根差した英語を学べるところがとてもよかったです。季節柄、日本人の学生が多いので、日本語を話しやすい環境が少し悪い点ではありますが、自分の意識次第でどうにでもできます。
2) 課外プログラムについて
放課後に色々なところに連れていってくれたり、英語のクイズ大会やマオリについて学べるアクティビティが開講されていて様々な者に参加しました。最初の方はどこが有名な場所なのかもわからない状態なので、参加することでオークランドを知っていただけの良かったです。
3) 現地での生活に関すること
ニュージーランドという場所が多民族国家であるため、生活になじみやすいことや、優しい人が多くて生活がしやすいところが良かったです。また治安もとてもいいのでそこも良かったです。悪い点としては少し物価が高い事ですが、お昼ご飯を毎日外食にせず、自分でスーパーで用意するなどの工夫をすると上手にやりくりをできると思います。

交流等について

1) プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。
ほとんどありませんでしたが、通った学校であるELAのボランティアの学生の人はオークランド大学の学生だったので、その方々と少し話をできました。
2) プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。
ないです。

異文化体験について

1) 日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。
最初に驚いたのは、公共交通機関で寝ている人がほとんどいないことです。日本では多くの人が寝ていますが、ニュージーランドでは寝ている人があまりいないので寝ないように注意しました。また、驚いたこととして、お店が閉まるのがとても早いです。多くのカフェやその他のお店は16時くらいにしまっており、レストランですら夜に営業していないようなところもありました。ホストファミリーの夜もとても早く、日が落ちるのが20時半くらいで、家が校外だったのもあり、日が落ちたらあたりが静まり返るのが最初は慣れなかったです。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

海外に行くこと自体ほとんど初めてだった私にとって、1カ月という長い滞在、ホームステイ、語学学校はとても大きなチャレンジでした。朝起きてバスに乗るところから、たくさんの学びがあり、とても充実した1カ月でした。旅行とは異なり、自分でその地に暮らして、生活をするという体験ができたのはとてもよかったと思います。観光地がそばにあるわけではない、住宅街に住んで、毎日バスで学校に通う、スーパーに行くなど、これから海外旅行に行ったとしても経験する事の出来ないことだと思います。自分の視野を広げてくれるものとなりました。また、ホームステイはホストリーファミリーとの会話から英語を学べるだけでなく、自分とは異なる生活スタイルや食事を体験でき、とても楽しかったです。

私は英語を話した経験はほぼなく、こんな状態で留学に行ってもよいのだろうかという不安を抱えてこのプログラムに参加しましたが、ホストファミリーや学校の先生のやさしさに支えられ、なんとか毎日生活をする事が出来ました。もし、英語力が不安で留学に行くか悩んでいる人がいたら、全く心配しなくていいと思います！

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	オークランド大学 2024 年度春季
-----	--------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	43685 円	昼食は持参することなく全てお店で買っていた。
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	27000 円	
現地通学費	22281 円	(研修先まで 40 分)
教養娯楽費	2999 円	
被服費	4712 円	
雑費	9187 円	
その他	17499 円	例: 全てお土産代である。
合計	127,363 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
カードでのタッチ決済。パスワードも入力しなくて良いため楽だった。海外でカードが使いやすいようにカード会社に設定してもらった。最後の方の週は現金を使い切ることが大切。円安だったので日本円に換金すると損するためである。
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
私は au と契約しているため、海外放題を契約した。値段は非常に高かったが、自分で設定する必要がない上に、ギガが無制限なので安心して使うことが出来た。電話番号が変わらなかった点も非常に良かった。
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
ファブリーズ等の消臭剤。洗濯が週に一度であるため役に立った。ハンディファンは非常に役に立った。現地は夏であったため涼しさの面で役に立った。また、電気代が高くドライヤーを週3のみ許可されていたため、ハンディファンで髪を乾かした。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☐ なし ☒ あり (問題の内容や相談した人等: ホストファミリーに関して友人に相談した。) 特記事項: 解決策、ホストファミリーの良い所を沢山見つけ、自分自身で解決出来た。
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
友人、ホストファミリーから聞く、もしくはインターネットで調べた。夕ご飯前の明るい時間に毎日帰っていた。日本と違い、明るい時間と夜の雰囲気の違いが大きかった。盗難には合わなかったが、帰りが遅くなり駅から家までの電灯のない道を歩いていたところ、車から「車に乗せてあげるよ」等、別の人物からも2 回声を掛けられた。非常に怖かったがとにかく走った。車は反対車線であったため追いかけて来る等のことはなかった。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
WiFi がある場所が多かった点良かった。私は海外放題でギガが使い放題であったが、建物に入ると電波が弱くなり、回線が遅かった。全体を通して5G になることはなく、WiFi も日本と比べると若干遅いように感じたが問題には感じなかった。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
☐ 寮・アパート ☒ ホームステイ ☐ ホテル	☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)

3)共有部分
☒ バス ☒ トイレ ☐ キッチン(☐ 自炊可 ☒ 自炊不可)
4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)
非常に厳しく、常に監視され完璧に生活できなければ指導されるような生活であったため初めの二週間ほどは、落ち込んでしまい辛いと感じていた。しかし、ホストファミリーは私のことを思って伝えてくれているためそのルールの意味を考え、より良い生活を送るための行動を取ることが大切であると感じた。もっとコミュニケーションは取れたに違いないが、少しずつ挨拶等のコミュニケーションを増やし、ご飯を食べながら会話が出来ようになったときは嬉しかった。様々な困難があったが、諦めずにコミュニケーションを取り、最終日にホストファミリーとハグをしてお別れが出来たため、達成感があった。これから留学する人に向けて「自分自身のことを主張する」ということを大切にしてほしいと感じた。日本と違い、察してくれることはないため無実を責められて悲しい思いをしないためにも自分がやっていないことはやっていない、自分はどうしたい等の自分自身を相手に伝えることが大切であると学んだ。

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。
良かった点に関して現地の学校の手厚いサポートがあったため、分からないこともなく守られているという安心感があった。個人ではなくコミュニケーションを大切にする授業であったため、沢山英語を話すことが出来た。 クラスや学校は殆ど全員日本人であり、言語学校ということもあり大学から分離されていたため、ネイティブの方と話す機会が少なかつた。自分から様々な場所へ赴き自分次第であることは承知しているが、現地の学生と関わる機会を用意してほしいと感じる瞬間もあった。
2)課外プログラムについて
放課後に ELA の職員の方が様々なアクティビティを行ってくださった。お金がかかる場所もチケットを提供してくださったため、躊躇することなく現地の様々な文化を学ぶことが出来た。ネイティブの方と話す機会もあり、非常に良い時間であった。
3)現地での生活に関すること
大学がオークランドの中心部にあるため、放課後も様々な場所に行くことが出来た。沢山の国から人々が集まっていたため、色々な文化を体験することが出来た。日本全国各地に友達ができ、人脈が広がった。

交流等について
1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。
放課後に行われるスタッフの方によるアクティビティで関わる事が出来た。また、授業内でオークランド大学の新生歓迎活動のようなものがあり、その際に現地の学生と日本の新生歓迎活動のようにコミュニケーションを取ることが出来た。
2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。
新生歓迎活動のようなものの際には、活動の内容を質問する、もしくは活動を体験した。

異文化体験について
1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。
日本と違い土曜日、日曜日の平日とのメリハリを感じた。全力で休日を楽しんでいる姿に現在の自分自身の生活に考えさせられるものがあった。 私のホストファミリーはヒンドゥー教であったため、ヒンドゥー教の様々な体験が出来、興味深かった。日や週によって食べるものが決まっており、日本では好きなものを好きな時に食べる人が多いと考えられるため、初めての体験であった。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

私は 1 か月の留学を通して自分自身の課題であった「自分自身を主張できる人」を体現することが出来たのみならず、いかなる環境や人も味方にし、解決策を迅速に見つける能力を身につけることが出来た点で大きく成長したと感じている。現地での学校生活やホームステイの最中も課題を解決するための最善策を自ら考え実行に移し、常に自分自身を変化させることが出来た。私が留学を通して身につけた柔軟なコミュニケーション能力や自分自身を主張すること、迅速な課題解決の能力は、今後の学生生活や社会で様々な人々と関わる上で円滑な人間関係を構築する際にも大いに活かすことが出来る。始めは困難に感じていたホームステイも努力の結果あたたかい思い出にすることが出来た。自分自身の課題を乗り越え、変化させられたことを自信へと繋げ、これからの大学生活に励む。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	オークランド大学
-----	----------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	40000 円	主に昼飯とアイスクリーム
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	5000 円	Ahamo, WorldeSIM
現地通学費	18000 円	(研修先まで60分)
教養娯楽費	60000 円	観光、ツアー
被服費	20000 円	Tシャツ(お土産含む)、パーカー
その他	32000 円	お土産など
合計	180000 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 割り勘、チップ
その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート

2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
クレジットカード(ほぼ対応していた)、現金は友達との割り勘に便利

3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
Ahamo(そのまま使えて便利だった)と WorldeSIM(ahamo が 15 日なのでその後利用したが少し低速だった)

4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
水筒、上着、ウエットティッシュ、爪切り、ビニール袋、スリッパ、プレゼント

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:)
特記事項:

2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
友達や現地の人やホストファミリーとの会話で収集した。なるべく一人にならない、人の多い道を選ぶなどで対策した。巻き込まれなかった。

3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
Ahamo(そのまま使えて便利だった)と WorldeSIM(ahamo が 15 日なのでその後利用したが少し低速だった)
ホームステイの家、学校には Wi-Fi があったが少し低速だった。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類 2) 部屋の形態

☐ 寮・アパート ☒ ホームステイ ☐ ホテル ☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)

3) 共有部分

☐ バス ☐ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)
どんなことでもホストファミリーへの確認をしとくと思います。ちょっとしたことでも文化の違いがあったりするし、会話のきっかけになります。

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。
良かった点: 文法、プレゼンテーション、ディスカッションなど多様なカリキュラムで、英語を総合的に学べた。テストを通じて、自分の成長を実感できた。午後は自由で大学主催の英語講義、観光地ツアーなど、参加することができた。 良くなかった点: 授業に日本人が多く日本語を使ってしまう機会があった。
2)課外プログラムについて
周辺の観光地(ビーチ、丘、ハイキング、公園、港など多くの場所に毎日行けた) ワイヘケ島でのワインとオリーブのテイスティング ティリティリマタンギ島でのバードウォッチング ホビット村やワイモ洞窟のツアー ラグビー観戦 牧場での乗馬 週末のマーケット
3)現地での生活に関すること
ホストファミリーとの交流を通じて、異文化の家庭生活を体験できた。 ニュージーランドの自然と都市の調和、快適な気候を満喫できた。 公共交通機関が充実しており、週の最大が50ドルで気軽に移動できた。 多文化・多人種の国家でありながら、人々が互いを尊重し合いながら共存している様子を体験できた。 日本と比べて土地が広く、道や家、公園が全体的にゆったりとしている点が印象的だった。人の性格もゆったりしていた。 昼飯は自作のサンドイッチの日と外食の日を分けた。 ほとんど人が親切で電車などで知らない人にしゃべりかけると色々知れて楽しいが、危険もある。

交流等について
1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。
Club'sDay(新歓)への参加。
2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。
電車で声をかけたとき現地学生だった。 友達に誘ってもらったカフェでの交流会でのトーク。

異文化体験について
1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。
マオリ文化に触れ、ニュージーランドの歴史や伝統を学んだ。 多文化・多人種の国家でありながら、人々がリスペクトし合いながら共存している姿勢。 日本とは異なる植生や風景を楽しめた。 日本と比べて土地が広く、道や家、公園が全体的にゆったりとしている点が印象的だった。人の性格もゆったりしていた。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

オークランド大学でのホームステイは、異文化体験とコミュニケーション能力の向上を同時に達成できる貴重な機会でした。温かいホストファミリーとの生活は、ニュージーランドの日常を深く理解する上でかけがえのない経験となりました。知らない人に電車などで話しかけたことで自分に少し自信ができました。 ニュージーランドの豊かな自然と多文化が共存する社会は、新たな価値観を育む上で大きな刺激となりました。特に、マオリ文化への触れ合いや、人々が互いを尊重し合う姿勢から、国際的な視野を持つことの重要性を学ぶことができました。 今後の学生生活では、留学で得た経験を活かし、英語学習に継続的に取り組み、国際的な舞台で活躍できる人材を目指したいです。 留学は、自身の成長を加速させる素晴らしい機会だと感じました。積極的に現地の人々と交流し、異文化に飛び込むことで、語学力だけでなく、人間性も大きく成長できたと思います。
--

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	オークランド大学 2024 春期
-----	------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	約 45,800 円	
図書費・学用品費	円	
携帯・インターネット費	5980 円	30 日間 20GB の eSIM をアマゾンで購入
現地通学費	約 16100 円	(研修先までバスで 40～50 分)
教養娯楽費	約 35860 円	
被服費	約 24400 円	
雑費	約 24800 円	お土産など
その他	円	例:
合計	約 15.3 万 円	

渡航準備について	
1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか	
現金の用意方法: 成田空港で出国前に準備しました	
その他用意したものの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート	
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください	
クレジットカード(特にスマホでの支払い)が楽でした	
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。	
日本にいたときに eSIM をアマゾンで購入しました。簡単に設定できます。	
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか	
家にティッシュがなかったので箱ティッシュやペーパータオルを持って行けば良かったと思いました。あと水着も持って行けば良かったなと思います。	

現地情報	
1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)	
☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:) 特記事項:	
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？	
友達から治安が悪い場所について教えてもらいました。 夜に一人で出歩かない、ながら歩きをしないなどに気をつけました。 犯罪には巻き込まれませんでした。	
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。	
家も学校も WiFi 接続があまり良くなかったです(家庭や教室によると思います)。ギガが多めの SIM を購入して良かったなと思いました。	

滞在形態関連	
1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
☐ 寮・アパート ☒ ホームステイ ☐ ホテル	☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	
☒ バス ☒ トイレ ☐ キッチン(☐ 自炊可 ☒ 自炊不可)	

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等) 私の家はマザーと同じプログラムに参加していた日本人の留学生との三人暮らしでした。マザーはとてもフレンドリーで夕食時にたくさん話すことができて良かったです。マザーと一緒に出かけることはなかったですが、フラットメイトの子と休みの日に一緒にツアーに参加するなど楽しく生活できました。また、20時半までにシャワーを済ませるというルールだったのでディナーに行った日などお風呂には入れない日もありました…

プログラム選択の参考となる点を記載してください
1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。 友達がたくさんできたことです。日本各地の様々な大学生が参加しているのでたくさんの人と関わることができます。逆に言うと日本人が本当に多いので海外の留学生は想像よりは少なかったですが、海外の友達ができないことはないです。自分次第だと思います。
2)課外プログラムについて 放課後にいろいろな観光地に行けたり、マオリの文化を学べたりするプログラムがあります。他クラスの子とも仲良くなれるのでおすすめです。
3)現地での生活に関すること 食費が本当に高いです。お昼代を節約したいのであればスーパーでパンやヌードルを買うのがおすすめです。

交流等について
1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。 大学の方の CLUB EXPO(サークルの新歓)に参加しました。
2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。 現地の学生に活動内容について質問しました。日本が好きな方が多いのでみなさん喜んで話してくれます。

異文化体験について
1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。 昼の時間が長いことです。20時半頃まで明るいのですごく新鮮でした。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

この研修に参加して本当に良かったと思います。理由は人と関わるのが好きになれたし今後自分が何をしたいのかも明確になったからです。知らない土地での生活に好奇心があったのと、英語が少し得意だからという理由で参加した研修でしたが、言語というものに興味を沸いて英語や他の言語に対する学習意欲が高まりました。授業は午前中で終わるので午後は自分の時間がたっぷりあります。そこで何をするかは自分次第です。私はほぼ毎日ツアーに参加したり友達とどこかに行く計画を立てていたのいろいろな場所を訪れることができました。オークランドは都会ですが、中心部にも多くの自然がありゆったりとした時間を過ごすことができる素敵な街です。毎日充実していてとても楽しい一ヶ月間でした。
--

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	オークランド大学短期研修
-----	--------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	7万 円	アルコール代を含む
図書費・学用品費	0 円	日本で全て用意したため0円
携帯・インターネット費	9890 円	Holafly の無制限 esim を使用
現地通学費	23175 円	(研修先まで 50 分)
教養娯楽費	9万 円	
被服費	7921 円	現地でお土産として購入
雑費	300 円	チップ
その他	6000 円	例: 現地での uber, lime の料金
合計	207286 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法:
その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☒ デビットカード・キャッシュパスポート

2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
クレジットカードのタッチ決済

3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
Holafly の無制限 esim を利用しました。購入からアクティベートまでスマホ1つですでに済ませ、無制限なため、ギガ不足の心配をせずにたくさん使うことができました。

4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
手洗い用の洗剤です。現地で羊毛(サマーウール)の服を買ったのですが、これを忘れてしまったため一度も着ることが出来ませんでした。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等: なし)
特記事項:

2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
現地の人から治安の悪いエリアを聞きました。貴重品は常に体から離さないようにしていました。夜を出歩く際は、イヤホンなどを付けず、10秒に一回は後ろを振り向くようにしていました。
バスに乗車中、食べ物をねだられたことがありましたが、抵抗せずに日本から持ってきたお菓子をあげました。金品ではなかったの
で今では笑い話になっています。

3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
田舎であったり地方へ通じる高速道路を走行している際は基本的につながらなくなりますが、オークランドの都市部、住宅街は基本的に繋がります。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類

☐ 寮・アパート ☒ ホームステイ ☐ ホテル

2) 部屋の形態

☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)

3) 共有部分

☐バス ☐トイレ ☐キッチン(☐自炊可 ☐自炊不可)

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)

ホストファミリーはファザー一人で、留学前は不安でしたが、炊事洗濯掃除の全てをホストファザーがしてくれていた上、自分専用の風呂、シャワー、トイレが用意されており、どれも清潔に保たれていました。大きな家ではなかったのですが、非常に快適に過ごすことができました。

友人の場合は日替わりで家事をするよう要求されていたので、滞在先によって環境は大きく異なるようです。

滞在先の環境は多種多様です。初めての留学でワクワクしている気持ちはわかりますが、「期待」しないことを強くおすすめします。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。

クラスは日本人がメインであったため、たくさん友達をつくることができました。

日本人がメインであったため、授業から英語力を発達させることはほぼありませんでした。

交流会(meet up)であったり、旅行先で外国人とコミュニケーションをとるなど、積極的に動かなければ英語力を伸ばすことはできないと思います。

2)課外プログラムについて

参加していません。

3)現地での生活に関すること

皆さんが思っている以上に治安は悪いです。

良い人と変な人が多く、悪い人(人種差別をする人)は極めて少ないイメージです。

非常に刺激的な滞在になることは間違いありません。

警戒心、人を常に疑う心を持ち合わせて行動しましょう。

交流等について

1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。

現地学生との交流はありませんでした

2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

現地の知り合いが紹介してくれた交流会(meet up)に参加したり、バーで知らない人達に話しかけて一緒に飲んで交流しました。相手は語学学校の先生と違い、日本で習った日本語訛りの英語は通じません。翻訳アプリを使っているうちに話題も変わってしまうので「正しい」英語を使わざるをえない状況の下で英語を話すことが重要だと私は考えています。

間違えてもいいこと、積極的に努力する姿勢を見せることが大事だと思います。

異文化体験について

1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

日本と違い、話しかければ知らない人でも仲良くなれます。

日本の自分と少し違う自分になって積極的に話しかけていきましょう。

様々な国籍にルーツを持つ人々が共生しあっているのがオークランドです。ニュージーランド関連以外の文化、例えばインド系の人人がなぜターバンを巻くのかなど、様々な文化を知れることが大きな魅力だと思います。

原住民のマオリとの交流は圧巻で博物館やマオリ村に行き、歴史やアイデンティティを知ることを強くお勧めします。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

英語だけでなく、自分の人間力を向上させることができた28日間でした。

私は留学に対して塾や予備校と同様、行けば力がつくものではないものだと思います。

語学学校で伸ばせる英語力には限りがあるうえ、日本人同士の英会話は意味がありません。自分で英語を使う機会を見つけ、語学学校で培ったベースを基に伸ばしていくことが英語力向上の最短距離だと考えています。

国内でも英語を勉強する機会はオンライン英会話やベルリッツなど多様な方法があるため、英語の力を国内で0→1へ育て、海外、つまり実践の場所1→2のように、国内である程度の素養をつけることが大事なのではないかと思いました。

オークランド大学への留学において日本人学生が多いことは否定的に捉えられがちですが、それはあくまで語学学校内でのみであり、そこで仲良くなった日本人同士で一人だと行きにくいような場所、例えばバーやオークランドから離れた場所への旅行をすることで、英語を話す機会を見つけることができます。

また、英語を伸ばすためだけにいくことはおすすめしません。日本では経験できないような自然、食事を楽しむため、そして自分と

じ大学であつたり日本国内では出会えないような人々と出会い、自分の考え方を広げるためなどと、自分のキャリアについても考えた留学をしましょう。

やろうと思えばなんでもできる28日間ですが、逆にさぼろうと思えばただ学校に行つて帰つて漫然としているだけであつという間に1日が過ぎていくため、「現地についてから」綿密に予定を組むことをお勧めします。

向こうは物価が高い分、サービスや食事が魅力的なため、あつという間にお金がなくなります。しかしながら、せっかく海外に来たのに財布の紐を締めてしまうのは非常にもったいないので金銭にある程度余裕がある状態で留学の日を迎えましょう。

今後はワーキングホリデーをしにオークランドへ戻ることを視野に踏まえ、TOEIC800点、IELTS7.5を目指します。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	オークランド大学研修2024春季
-----	------------------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	約40000 円	一食3000円程度
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	0 円	
現地通学費	約20000 円	(研修先まで 80 分)一週間で5000円
教養娯楽費	約20000 円	週末の観光
被服費	約20000 円	
雑費	約3000 円	生理用品など
その他	約30000 円	例:お土産
合計	約130000 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか

現金の用意方法: 日本で30000円を換金していききました。現地で現金を使うことはあまりありませんでしたが、友達との割り勘や万が一の時のために 2.3 万円持っていくと安心だと思います。

その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート

2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください

クレジットカードはタッチ一回で支払いができるので便利でした。私は 3 万円が上限の学生カード二枚と家族カード一枚の計 3 枚を持っていきましたが、学生カードは交通費や食費ですぐに上限に達し、使えなくなってしまったので家族カードを持って行って正解でした。現金が使えないお店もあったので多めにクレジットカードを持っていくことをお勧めします。

3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。

15 日間は ahamo を利用しそれ以降はポケット wifi を使用しました。SIM を利用していた友達は SMS 認証が必要なアプリの登録が上手くできず大変そうでした。

4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか

味噌汁と水で溶かして作る抹茶を持っていきました。日本食が恋しくなってくるので特に味噌汁は持って行って良かったです。大学のスクールラウンジにお湯があるので授業終わりにお湯を注いで味噌汁を飲んでいました。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 研修の相談窓口、現地の友人等)

☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:)

特記事項:

2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？

事前に SNS を駆使して調べたり、世界の歩き方を購入して調べました。陽が沈む 20 時以降は外出しないようにし、19 時までには帰宅していました。またスマホを盗まれないようにスマホホルダーを使っていました。

3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

大学のインターネットもホームステイ先のインターネットも不便なく使用できました。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類

☐ 寮・アパート ☒ ホームステイ ☐ ホテル

2) 部屋の形態

☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)

3) 共有部分

☒バス ☒トイレ ☒キッチン(☒自炊可 ☐自炊不可)

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)

私のホストファミリーは夫婦と4歳の息子の3人家族の家庭でした。インドの家庭なので作ってくれる料理が辛かったり朝にシャワーを浴びたりなど最初は大変な思いもいましたが、辛いのが苦手と伝えたと私の分だけ別に辛さを減らした料理を提供してくれました。インドの家庭だと毎日カレーが出ると思っていたので覚悟していましたが私のホームステイ先ではそんなことはなく、パンケーキやパスタ、チキンなどカレー以外の料理の方が多かったです。私が最初の留学生だったようでとても親切に接してくれました。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。

1 限目は文法のクラス、2 限目はコミュニケーションのクラスでした。授業では先生の話聞くことよりもペアやグループで話す機会が多く、スピーキング力を伸ばせたように感じます。2 限目で扱う議題ではアカデミックな内容が多く、それについて話すのが大変でしたが、難しい単語も一つ一つ先生が丁寧に解説してくれるので良かったです。一方で私のクラスには中国人が一人、そのほかは日本人だったため、休み時間は日本語を話す機会が多かったことが残念でした。

2)課外プログラムについて

課外プログラムには参加しませんでした。一回のツアーが一万円を超えているため、自分たちで行きたい場所やプランを立てて観光していました。

3)現地での生活に関すること

ニュージーランドにはとても親切な人がたくさんいました。最初は学校の登下校で道に迷ってしまうことが多かったのですが、歩いている人に道を尋ねるとみんな足を止めて親切に教えてくれました。お店の人やバスの運転手の人などもとてもフレンドリーでした。ニュージーランドには様々な人種の人が暮らしているのでたくさんの文化に触れることができ、街並みも美しく、とても居心地が良かったです。

交流等について

1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。

授業の中でサークルの新歓のようなものに参加しました。その際に先生から10個ほど現地の学生の人と関わるミッションが与えられるのでそれを達成しながら交流することができました。

2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

プログラム外での交流はありませんでした。

異文化体験について

1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

バスを降りるときに運転手の人に Thank you!!と言っていたことがとても印象に残っています。いわれる側も聞いている側もとても心があたたかくなる素敵な文化だなと感じました。またバスや電車の中でも日本よりもはるかに高齢者の方に席を譲る人が多かったです。お店のメニューには写真はなく、その料理に何が含まれているのか細かく書かれているので嫌いなものが入っていないか確かめることが容易でした。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

初めての海外だったので治安のよいニュージーランドを留学先として選びました。予想以上にニュージーランドには親切な人がたくさんいて助けていただきました。自然が豊かで美しい国でした。料理の値段は高いですが、ラム肉やオイスターなどこのお店も本当においしいのでぜひ食べてほしいです。留学当初は1か月が長く感じ、英語だけの授業が嫌になったりホームシックになりましたが、授業でできた友達やホストファミリーが親切に接してくれたのでとても充実した1か月を過ごすことができました。大学では最後の週に4技能のテストがあり、その結果に基づいて担任の先生からフィードバックをいただけるので帰国した後の英語学習に生かすことができます。クラスも自分のレベルにあった授業を受けることができるので今の自分の英語力を気にせず、ぜひ留学にチャレンジしてほしいです。きっと刺激的で充実した環境があなたを成長させてくれるはずです。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	オークランド大学
-----	----------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	約 48,000 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	20,280 円	
現地通学費	約 25,250 円	(研修先まで 30 分)
教養娯楽費	約 20,500 円	
被服費	約 3,400 円	
雑費	約 6,040 円	
その他	約 31,270 円	例:お土産
合計	約 154,740 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法:ワールドカレンシーショップで5万円換金しました。
その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☐ デビットカード・キャッシュパスポート

2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
大抵の店で利用できるので、クレジットカードでの支払いが最も役に立ちました。

3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
docomo の世界そのままギガを申し込みました。

4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
日本から準備して行き助かったものは、爪切り、虫刺され用の薬、帽子、日焼け止め、サングラスです。準備したほうが良かったものは、多めのビニール袋やジップロック、虫対策グッズです。

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。
(例:研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり(問題の内容や相談した人等:)
特記事項:

2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
オリエンテーションにて現地の警察官の方から防犯対策の指導があったほか、語学学校の先生からもバスに乗る際の防犯対策について教わりました。また、バッグにダイヤルロック錠を付けておきました。

3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
滞在先や大学構内では Wi-Fi が使用できました。Wi-Fi に接続できない場所でも、世界そのままギガで問題なく利用できました。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類

☐ 寮・アパート ☒ ホームステイ ☐ ホテル

2) 部屋の形態

☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)

3) 共有部分

☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)

私の滞在先はインド系の夫婦の家庭で、犬が一匹いました。マザーもファザーもとても温かく、毎日安心して過ごすことができました。何か問題や分からない事があった時も、相談すれば全て対処してくれたので、ありがたかったです。インドの伝統的な料理やオークランドの観光スポットについて教えてくれたのも嬉しかったです。また、私の滞在先は留学生を多く受け入れている家庭だったので、韓国人やフランス人、エクアドル人など、様々な出身の留学生と交流することができ、とても楽しかったです。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。

少人数授業だったので、先生方が生徒一人一人に気を配ってくださったのが良かったです。授業中でも質問がしやすかったです。また、生徒の要望に沿って授業計画を立ててくださったのも嬉しかったです。良くなかったのは、生徒のほとんどが日本人だった点です。日本の大学の春休み期間だったということもあり、語学学校だけでなく、街中にも日本人が多くいました。そのため、外国人と話す機会には自分で作る必要があると感じました。幸運にも私には他国出身のホームメイトが多かったので、ホームメイトと英語で話すことができました。また、放課後プログラムに参加し、先生方と英語で話しました。

2)課外プログラムについて

課外プログラムが掲示されている掲示板を見つけたのが遅かったため、休日のプログラムには参加する事ができませんでした。放課後のプログラムも、課外プログラムはすぐに予約が埋まってしまったため参加できませんでしたが、校内で行われるプログラムには参加する事ができました。私が参加したプログラムは英語で推理ゲームをするというもので、難しかったですでしたが楽しかったです。

3)現地での生活に関する事

午前授業だったので、放課後にオークランド観光をすることができました。休日には、オークランドから離れた島に観光に行く事もありました。ニュージーランドは温かい人が多く、バス停等で親しげに声をかけてくれる人がたくさんいて、嬉しかったです。一方で、少数ですが変質者もいます。なるべく一人で行動しない、人気のない所に行かないなど、常に安全を心がけることが必要だと感じました。

交流等について

1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。

オークランド大学のクラブ活動を紹介するイベントに参加するという授業があり、その際に現地学生に様々な質問をすることができました。現地学生の発音は語学学校の先生やホストファミリーの発音と比べると聞き取りづらく、リスニング力を鍛えることができました。

2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

プログラム外での現地学生との交流はありませんでした。観光したり買い物をしたりした際に、現地の人々と交流することができました。

異文化体験について

1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

家にエアコンが無く、常に窓を開けておくことに衝撃を受けました。虫が入ってくることもあったため、はじめは少し不快でしたが、すぐに慣れました。また、運転手に合図を出さないとバスが停まらないことも日本とは異なると感じました。最初の週は、合図に気づいてもらえず、バスを逃してしまったことがありました。そして、バスを降りる時に運転手にお礼を言う文化も印象的で、温かい文化だと感じました。最も印象的だったのは、先住民であるマオリ族を敬っている様子が様々な場所で感じられたことです。例えば、バスの車内アナウンスでは、まずマオリ語でアナウンスがされた後、英語でアナウンスがされました。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

この留学プログラムを通して、私は、ホストファミリーやホームメイト、他大学の学生など、様々な人と関わることができました。異なるバックグラウンドを持つ人との交流は大変興味深く、自分の価値観を広げることができたように感じます。また、異文化に触れたことで、ニュージーランドの良さを知ることができたとともに、日本の良さにも気付くことができました。これらがこのプログラムの最大の利点だと思います。一方で、このプログラムでは、英語力の向上については、自分自身で機会を作らなければ難しいと感じました。積極的に課外プログラムに参加したり、現地の人々との交流の場を探したりすることが大切だと思います。

国際化サポート海外留学奨励金 留学報告書

研修名	オークランド大学
-----	----------

留学費用項目	かかった費用 (円換算)	備考 特記事項があれば記入してください。
食費	約 30,000 円	
図書費・学用品費	0 円	
携帯・インターネット費	9,800 円	1 日 980 円×10 日分
現地通学費	約 20,000 円	(研修先まで 60 分)
教養娯楽費	約 26,000 円	
被服費	約 7,000 円	オークランド大学のスウェットパーカー
雑費	0 円	
その他	約 60,000 円	例:お土産
合計	約 147,800 円	

渡航準備について

1) 現地通貨(現金)はどのように準備をしましたか
現金の用意方法: 成田空港で日本円で 3 万円分換金しました。
その他用意したもの: ☒ クレジットカード ☒ デビットカード・キャッシュパスポート
2) どの方法での支払いが役に立ったか等があれば記載してください
やはりカードがスムーズに払えるため、一番便利だと感じました。 ただ現金を持っておくと、割り勘がしやすかったり、カードの手数料を払わなくて済むので、現金を持ち歩くのもいいと思います。
3) 現地で使用する通信手段(SIM カード、WiFi)は何を用意しましたか。良かった場合は具体的に記載してください。
設定が簡単なソフトバンクの海外あんしん定額(24 時間 980 円3GB)を使用しました。 お金を気にしない方は良いですが、ソフトバンクユーザーの方にはあまりおすすめできません。(SIM などのほうが安くて便利)
4) 日本から準備して行き助かったものや、準備したほうが良かったものはありましたか
助かったもの: 日焼け止め、サングラス、ハンディファン(バスや教室のエアコンが壊れていることがあるため必須だと感じました。)、 ごみ袋、スリッパ、パーカー(朝晩は割と寒く感じます。)、洗濯ネット、水筒、緑茶の粉 準備したほうが良かったもの: 帽子、様々な厚さの長袖、メッセージカードセット(最後の日に友人全員に配りたかったです。) 個人的に持っていかなくてよかったもの: 変圧器(海外対応のドライヤーを用意していたので必要なかったです。結構重いので、本当に必要なのかしっかり確認することをおすすめします。)

現地情報

1) 活動中、何らかの問題がありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。 (例: 研修の相談窓口、現地の友人等)
☒ なし ☐ あり (問題の内容や相談した人等:)
特記事項:
2) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
ホストマザーに危険な場所があるのかどうか聞きました。また、暗くなると危ないといわれたので日没前には帰るようにしました。
3) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。
問題なく使えました。

滞在形態関連

1) 留学中の滞在先の種類	2) 部屋の形態
☐ 寮・アパート ☒ ホームステイ ☐ ホテル	☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数 人)
3) 共有部分	

☒バス ☒トイレ ☒キッチン(☒自炊可 ☐自炊不可)

4)感想:(滞在先の感想、これから留学する人のためのアドバイス等)

私のホストファミリーはフィリピン系の 4 人家族でした。同世代の息子と中学生の娘がいましたが、自分の時間を大切にしているように見えたので、私はホストマザーと話すことが多かったです。夕食後、やることがあまりないときはリビングに残って会話を楽しみ、宿題などやりたいことがあるときは自分の部屋にいました。自分の行動次第でホストファミリーとのかかわりが変わってくるので、たくさん会話したい方は自分から話しかけることをおすすめします。また、どんなときも挨拶や感謝の言葉を忘れずに過ごしました。それが一番大事なことでないかと考えます。

プログラム選択の参考となる点を記載してください

1)研修先授業およびプログラムの良かった点、良くなかった等を記載してください。

1時間目が、文法やリーディングのクラス、2時間目がスピーキング重視のクラスでした。

1つ目のクラスは教科書に沿って単語や文法を学ぶのですが、担当の先生が授業内容に関連する単語をたくさん教えてくれたため、新しい言葉に触れる機会も多く、ためになりました。また、授業内容を振り返ることができるゲームをたくさんしました。日本の英語の授業よりもアクティブにそして楽しく勉強できました。

2つ目のクラスは毎週タスクがあり、それに向けて勉強するという形でした。タスクというのは、①Ted Talk を行う、②あるトピックに関する調査を行いグループでビデオを作る、③履歴書を作り面接練習をする、④クラブを作りそれをほかの生徒に宣伝する、というものでした。個人で行うタスクやグループで行うタスク、どちらもあるので、全ての人が楽しめると思います。

2)課外プログラムについて

マウントイーデンに登るプログラムが無料だったので参加しました。違う大学やクラスの日と仲良くなれるチャンスでした。

ほかにも無料のプログラムがあるので、参加することを強くお勧めします。(すぐ定員がいっぱいになるので、早めに申し込んでください。)

3)現地での生活に関すること

様々な留学報告書を読んだ方ならわかると思いますが、オークランドは本当に坂が多いです。坂しかないといっても過言ではないくらいなので、歩きやすい靴、サンダルを持って行ってください。

食事も景色も芸術もスポーツも楽しめるのがオークランドです。1か月しかありませんが、本当にいろいろなことを経験し、充実した留学生活になりました。

交流等について

1)プログラム内で現地学生等との交流があれば記載してください。

授業内で、オークランド大学主催のクラブ新歓があり、そこで現地学生と交流できました。

2)プログラム外で交流等を行った場合、どのようにして交流したか、何をしたか等を記載してください。

現地学生ではないですが、公園にいる現地の人と交流したことが何回かあります。自然な形で話しかけて、日本についてや相手の国について、オークランドについて会話をしました。

異文化体験について

1)日本とは異なると感じた、印象に残る体験があれば紹介してください。

ツアーの最中に、お客さんとガイドが口論する場面を見ました。それを見た日本人はみんな口をそろえて「海外だね」といっていました。お客様第一主義の日本では見ない光景でした。自分自身の意見を持っていることが大事な海外ならではの光景ではないかと感じました。

留学体験記

研修や生活全般、今後の学生生活への抱負等、後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。(200字以上)

ニュージーランドを強くお勧めされてこの留学に参加しましたが、参加すると決断した過去の自分をとてもほめてあげたいくらい、自分にとって大きな経験となりました。私は、オリエンテーションの前に話した韓国出身の子とたまたま英語のクラスが同じだったこともあり、その子と共に時間を過ごすことが多かったです。もちろん楽しく遊んだりもしましたが、お互い英語を勉強しに来ているので、わからない単語は一緒に確認したり、それを日常会話に取り入れる等、英語学習のモチベーションを高めてくれる相手でもありました。この子のおかげで、英語を話す機会が多くなり、自分の英語力が成長したと感じました。日本人だけだと、日本語が通じてしまいますが、1人でも他国出身の人がいると、共通語は英語になります。英語力を伸ばしたい人は、そのような環境を見つけて過ごすことをおすすめします。これが1番楽しく英語を勉強できる方法だと思います。時期的に日本人が多いので難しいかもしれませんが、英語で会話というのは日本人同士でもできるので、一度試してみてほしいです。新たな気づきがたくさん見つかると思います。

オークランドは本当に素敵な街で、どこに行っても楽しめます。研修先の学校もたくさんの素敵な出会いがありました。本当に毎日が楽しくて、とても充実した留学生活となりました。これから留学する皆さん、やりたいことにたくさん挑戦してみてください。

皆さんにとって素敵な思い出が作れることを願っております。また、この報告書が皆さんの準備に少しでも役に立てばうれしいです。